

# 高速交通網調査特別委員会資料

(平成25年12月16日)

〔件名〕

- 1 山陰道一部供用開始について (道路企画課)・・・1ページ
- 2 米子鬼太郎空港へのスカイマーク就航に伴う駐車場整備について (空港港湾課)・・・2ページ
- 3 鳥取空港における航空機の新たな東側着陸経路の設定について (空港港湾課)・・・3ページ

県土整備部

# 山陰道一部供用開始について

平成 25 年 12 月 16 日  
道 路 企 画 課

山陰道のうち、鳥取西道路〔鳥取 IC～鳥取西 IC (1.8km)〕が、12月14日(土)午後3時から供用開始となりました。また、中山名和道路・名和淀江道路〔赤碕中山 IC～名和 IC (8.6km)〕が、12月21日(土)午後3時から供用開始します。

今回の供用開始により、山陰道の県内区間(全長 88km)のうち 57km が供用となり、供用率は 53%から 65%となります。

## 未整備区間等の整備見通し

### ○「鳥取西道路」

吉岡温泉 IC～青谷 IC 間については、平成 29 年度供用予定が公表されたところであり、残る鳥取西 IC～吉岡温泉 IC 間についても一体的に供用できるよう、県も埋蔵文化財調査や用地買収の推進を支援するための体制を強化して取り組んでいる。

### ○「北条道路」

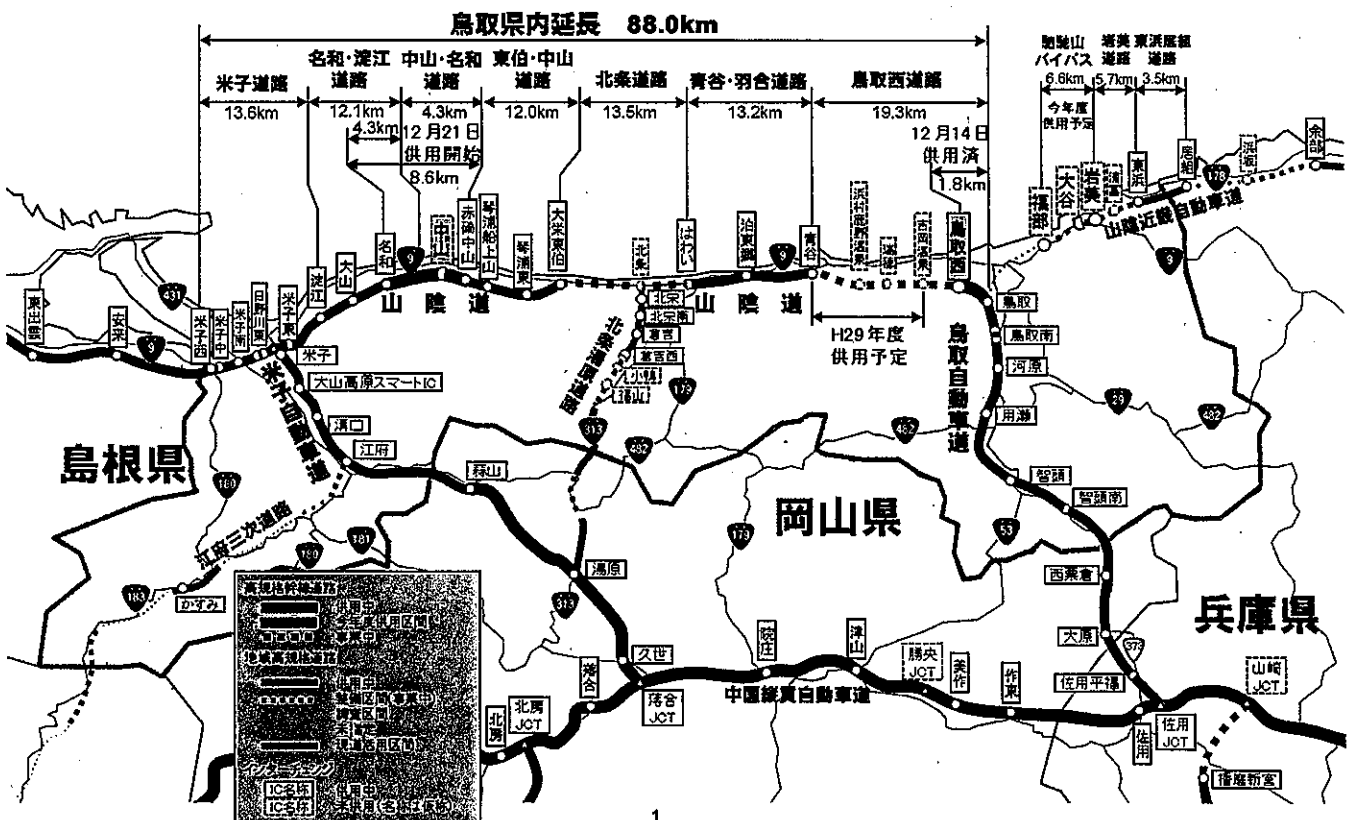
事業再開に向けた計画段階評価の審議が開始されたところであり、県としても都市計画決定等において必要な協力を全面的に行う。

また、今年度から、湯梨浜地区と北栄地区における交通安全対策事業(平面交差点の立体化)が事業化され、現在、詳細設計中であり、来年度から工事に着手される予定である。

### ○「米子道路」

平成 24 年度緊急経済対策において、日野川東 IC～米子南 IC 間の付加追越車線の設置が事業化された。

現在、日野川東 IC 付近及び米子南 IC 付近の土工工事を施工中であり、日野川渡河橋については、詳細設計中である。



# 米子鬼太郎空港へのスカイマーク就航に伴う駐車場整備について

平成25年12月16日  
空 港 港 湾 課

米子鬼太郎空港におけるスカイマーク就航に伴う駐車場整備の概要は次のとおりです。

## 1 空港駐車場の現状と今回増設する駐車場

| 現 状                             |      | 今回増設する駐車場 |      |
|---------------------------------|------|-----------|------|
| ・空港ビル前                          | 556台 | ・旧県道敷     | 143台 |
| ・P1(サントピア)                      | 75台  | ・三日月地     | 126台 |
| ・P2(幸神体育館)                      | 51台  |           |      |
| 〔平成24年度において満車日87日など<br>駐車場が不足。〕 |      |           |      |
| 小 計                             | 682台 | 小 計       | 269台 |
| 計                               |      | 951台      |      |

## 2 駐車場増設の経緯

- ・9月18日に、スカイマーク社が米子鬼太郎空港への新規就航計画を発表した。
- ・10月上旬の地域振興県土警察常任委員会及び高速交通網調査特別委員会で、新規就航に係る準備状況を報告し、駐車場の不足が懸念されることから、空港周辺の県有地を第1候補として駐車場の増設について検討していることを説明した。
- ・その後、12月20日の就航までに駐車場増設を間に合わせる方策を検討した結果、道路敷の有効活用の一環であり、最低限必要な整備等は既定経費（空港費及び道路維持修繕費）の中で対応と整理し、12月20日以降で間に合うものは11月補正予算で提案した。

【米子空港増設駐車場整備の経費内訳】

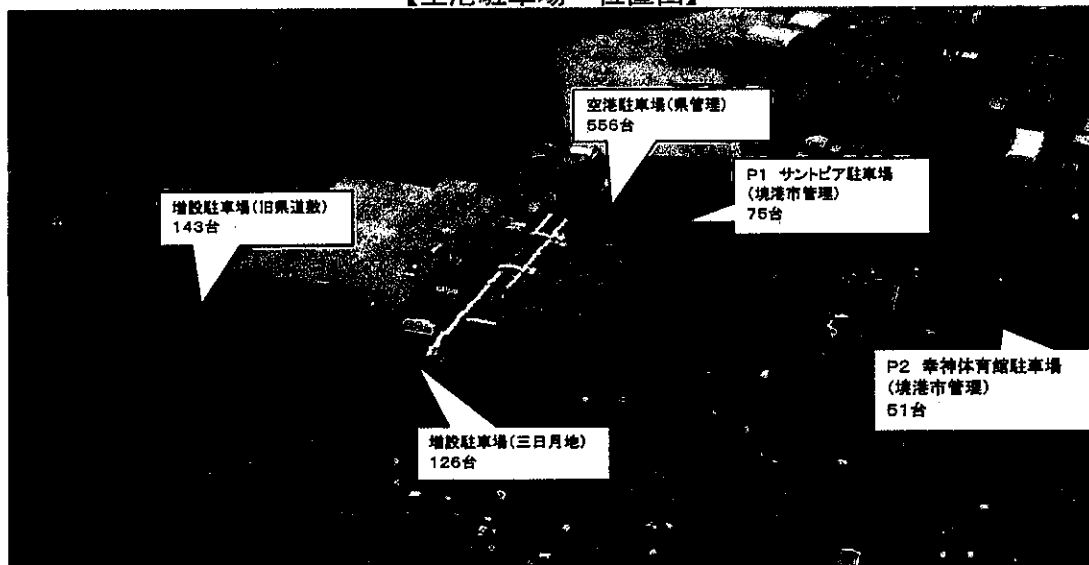
(単位：千円)

| 内 容   |          | 経 費    | 備 考         |
|-------|----------|--------|-------------|
| 既定経費  | 測量設計     | 2,793  | 空港費         |
|       |          | 967    | 空港費         |
|       | 工事       | 43,815 | 道路維持修繕費     |
|       | 維持管理     | 10,133 | 空港費・道路維持修繕費 |
| 小 計   |          | 57,708 |             |
| 11月補正 | 工事等      | 12,000 | 空港費         |
|       | (案内標識)   | 6,040  | 空港費         |
|       | 維持管理     | 2,460  | 空港費         |
|       | 将来計画予備設計 | 2,000  | 空港費         |
| 小 計   |          | 22,500 |             |
| 合 計   |          | 80,208 |             |

## 3 今後の取組み

- ・空港利用者の利便性向上のため、案内誘導の看板設置等を行う。  
(看板設置までは警備員による案内誘導で対応する予定)
- ・空港アクセスとして、鉄道・バス等の公共交通機関の利用促進も図っていきたい。
- ・航空需要の動向、公共交通機関の利用促進、駐車場の混雑状況を見ながら、将来計画や当面の対応について検討していく。

【空港駐車場 位置図】



# 鳥取空港における航空機の新たな東側着陸経路の設定について

平成25年12月16日  
空 港 港 湾 課

鳥取空港において、12月から航空機の新たな東側着陸経路が設定されました。これにより冬季の就航率向上が期待されます。

## 1 鳥取空港の現状

- ・鳥取空港では冬季の降雪時に視界不良による欠航が多いため、就航率の改善は喫緊の課題となっている。
- ・冬季の西風時には、空港周辺を旋回し東（鳥取砂丘）側から滑走路を目視で確認しながら着陸せざるを得ない。計器着陸装置（ILS）による着陸よりもさらに良好な視界条件が必要となり、冬季の欠航に繋がっている。
- ・なお、東側からの計器着陸装置（ILS）による直線進入は、航空機の飛行経路に山麓などがあり設定できない空域となっている。

<参考：鳥取空港の就航率の推移>

(単位：便)

|               | 20年度  | 21年度  | 22年度  | 23年度  | 24年度  |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 欠航便数（通年）      | 44    | 52    | 52    | 91    | 56    |
| 冬季欠航便数（12～3月） | 35    | 41    | 46    | 59    | 33    |
| 就航率（12～3月）    | 96.4% | 95.8% | 95.2% | 94.0% | 96.6% |

## 2 新たな着陸経路の概要

- ・着陸の15～50秒（直線経路）以前は、任意の経路（曲線など）設定が可能である。
- ・航空機に搭載されたGPS機能等により自機の位置を確認することができ、滑走路直前まで曲がりながら進入できる。

※RNAV (Area Navigation) 進入とは、GPSを含めた電波を利用して自機位置を測位し飛行コースを設定して飛行できる航法。新しいRNAV進入は、航空機の性能アップなどの技術革新により、従来航法よりも経路幅を狭くできる。



## 3 鳥取空港で期待される効果等

- 天候不良時の経路短縮や就航率の改善に効果がある。
  - ①新たな着陸経路の使用割合は年間約19%と推定
  - ②進入時の限界高度及び最低気象条件が緩和される。  
(進入時の限界高度：計器飛行により降下することができる最低の高度)
  - ③昨年度の悪天候による欠航22便のうち、約6割は着陸可能となる。
- 新たな着陸経路を飛行できる機種（B737-800型）が現在のところ東京便4往復のうち3往復運航中である。

# 鳥取空港に新たな東側着陸経路が設定されます

## ○現在の鳥取空港着陸経路

- ①空港上空を通過し西側から計器飛行により進入しそのまま着陸する経路
- ②西風の強い時、①と同様に西側から進入し、滑走路を目標により確認しながら東側に回りこんで着陸する経路の2ルートが設定されています。

○本年12月以降は、新たに西風の強い時に使用できる東側から着陸する経路③が加わり3ルートが設定されます。  
 ※東側着陸経路は②、③の2ルートとなります

ルート①:現在の西側着陸経路  
 ルート②:現在の東側着陸経路  
 ルート③:12月以降に加わる新たな東側着陸経路  
 東側の着陸割合は、過去3年平均で年間約19%(約270回)

## ○新たな東側着陸経路③の特徴

- ・航空機に搭載されたGPS機能等により曲線進入が可能となり、障害地形を避けた飛行経路が設定可能となりました。
- ・進入時の限界高度及び最低気象条件が緩和され、天候不良時の経路短縮や就航率の改善等に効果があります。
- ・飛行する対象機種は、B737-800型機となります。

新たな東側着陸経路③  
 兵庫県美方郡香美町香住区を通過し、野馳山沖の日本海から福部町湯山上空を通過し鳥取空港に着陸する経路

日本海

福部町湯山上空  
 飛行高度 約400m

障害地形

①鳥取空港

## 平成25年10月27日～平成26年1月6日 鳥取空港時刻表

到着便4便のうち3便が対象機種

| 東京発 ⇒ 鳥取着            | 鳥取発 ⇒ 東京着            | 機種       |
|----------------------|----------------------|----------|
| 06:40 ⇒ 08:00 (293便) | 07:05 ⇒ 08:15 (292便) | B737-800 |
| 10:45 ⇒ 12:05 (295便) | 08:40 ⇒ 09:50 (294便) | B737-800 |
| 15:55 ⇒ 17:20 (297便) | 12:45 ⇒ 13:55 (296便) | B737-800 |
| 19:30 ⇒ 20:55 (299便) | 18:15 ⇒ 19:30 (298便) | A320     |
|                      |                      | B737-800 |

←東京から